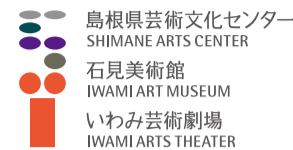


Grand Toit News

グラントワニュース

vol. 80
Winter 2024



企画展紹介 「デザインの本质を
探究しつづける『私』」
劇場事業紹介 「グラントワが取り組む
多様な育成事業」

- 特集 芸術の秋はグラントワでスイング♪
ビッグバンドフェスティバル島根
- 「グラントワのおすすめ」
反田恭平 & ジャパン・ナショナル・オーケストラ
- リレーでコラム ほか

新年は
4日(土)から開館!

デザインの 本质を探究 しつづける「私」

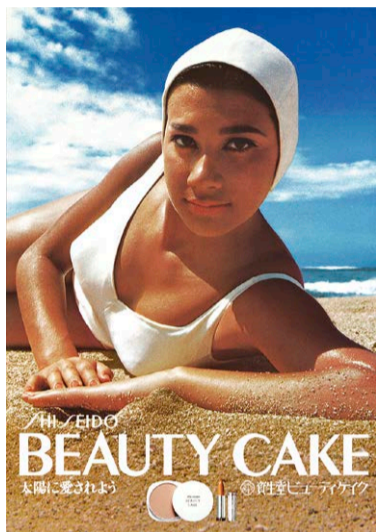


図1 「太陽に愛されよう 資生堂ビューティケーキ」
資生堂ポスター (1966)

企画展「石岡瑛子 I デザイン」について、
展覧会担当の廣田理紗専門学芸員に聞きました。

世界を舞台に活躍した石岡瑛子さんの作品を楽しめる展覧会かどうかがありました。まずは瑛子さんについて、改めてご紹介いただけますか？

はい。石岡瑛子さんは、広告、舞台、映画など、さまざまな分野に情熱を燃やし、仕事をしたデザイナーです。生涯にわたって「I=私」自身を見つめ、デザインの本質を探究しつづけてきました。

1938年に東京市小石川区（現在の東京都文京区）に生まれ、東京藝術大学美術学部を卒業

後、資生堂宣伝部に入社して、デザイナーとしてのキャリアをスタートさせます(図1)。独立後は広告に加え、書籍の装丁、展覧会のアートディレクション、企業のブランディングなども手がけて活動の幅を広げました。1980年にはニューヨークへ渡り、世界を舞台に活躍するようになります。舞台美術や映画の衣装(図2)、さらにはオリンピックのユニフォームなども手掛け、その仕事は世界中の人々に注目されました。石見美術館で

は2021年に開催した企画展「Fashion in Japan 1945-2020 一流行と社会」で、瑛子さんの仕事を少しだけ紹介しました(図1など)。今回の企画展では、約500点の作品を通して瑛子さんのクリエイションを総合的に展覧し、その真髄に迫ります。

壮大な企画ですね。みどころを教えてください。

たくさん魅力的な作品があるので、選ぶのが難しいのですが、コーポレートアイデンティティを作り上げたパルコのCMやポスター(図3)などの作品群は必見です。渋谷が今のようにファッションの街ではなかった時に、渋谷駅から坂を上った先にあるパルコまで人々を呼び込む魅力を、広告の力を使って浸透させたのは瑛子さんです。ユニークなキャッチコピーと力強い写真や映像の組み合わせで作られるポスターやCMは、パルコに行って服を買うこと自体を文化的な活動として提案するもので、そうした価値観は時代の意識となって定着しました。展覧会では歴代のポスターはもちろん、CMもご覧いただけますので、楽しみにしてください。

それと、個人的に関心したのは書籍の装丁の仕事です。まず

はその仕事量に驚かされます。アーティストの作品集などを手がけているだけでなく、意外なことに教科書なども手がけているのです。『小学校1年 りか』は、私の「押し作品」です。子どもが手のひらにのせたひよこを見つめながら、自らもひよこのように口を尖らせている写真が使われていて、科目の雰囲気と低学年特有の可愛らしさがわかりやすく、そしてもちろん大変美しく伝えられていて、感動しました。

教科書とは意外ですね！幅広く仕事されたことがよくわかります。最後に、今回ユニークな展示方法をとるとうかがいましたので、それについても教えてください。

今回、作品と一緒に瑛子さんの残した言葉を並べて展示し、鑑賞できるようにしました。瑛子さんは考えを形に落とし込むことが仕事ですが、言葉にもすごく力があります。自問自答を



図2 「ドラキュラ」
映画ポスター (1992)

繰り返しながら強い表現を湧き上がらせるといった制作スタイルをとっていたクリエイターなだけあり、その言葉は整理されていて、簡潔です。潔く言い切る表現が多く、強い覚悟を持ってものづくりに向き合っていただろう、瑛子さんの人柄や生き方が言葉に滲み出ています。作品を見て、瑛子さんの言葉を読んで、また作品をみて、と繰り返すうちに、瑛子さんが大事にしていた「I=私」とは一体何だったのか、が見えてくるのではないのでしょうか。ぜひお楽しみください！



図3 「あゝ原点」
PARCOポスター (1977)

流行は絶対に追わない。

石岡瑛子
Eiko Ishioka

デザイン
design

2024年12月14日(土) - 2025年2月24日(月・振休)

【開館時間】9:30-18:00 ※展示室への入場は17:30まで
【休館日】火曜日(2月11日は開館)、12月28日-1月3日、2月12日

【主催】島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、中国新聞社、日本海テレビ
【監修】Team EIKO(石岡裕子、河尻亨一、永井裕明[N.G.inc.])
【特別協力】公益財団法人DNP文化振興財団、株式会社DNPアートコミュニケーションズ
【企画協力】追付裕子(S2株式会社) 【協賛】株式会社 資生堂 【協力】PARCO 【後援】芸術文化とふれあう協議会

【観覧料】当日券：一般 1,000(800)円、企画・コレクション展セット 1,150(920)円、
大学生 600(450)円、企画・コレクション展セット 700(530)円、小中高生 300(250)円、企画・コレクション展セット 300(250)円
前売券：企画・コレクション展セット 900円

※()内は20名以上の団体料金 ※小中高生の学校利用は入場無料 ※各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方およびその介助者(1名まで)は入場無料
※前売券はローソン各店(Lコード63081)、グラントワ総合案内カウンターおよびオンラインチケット「シマチケ」(WEBサイト)でお求めになります。(11月1日発売開始)
※ローソン各店、グラントワ総合案内カウンターでの前売券の取扱いは開館前日まで

「New Music Media」音楽祭ポスター(1974)部分

関連プログラム

●開幕記念スペシャルギャラリートーク

本展監修者の河尻亨一さんと永井裕明さんに、編集者・作家とデザイナーというそれぞれの視点から、瑛子さんの仕事の魅力、見どころをご紹介します。

【日時】12月14日(土) 14:00~15:30

【講師】河尻亨一(編集者・作家)、永井裕明(N.G.inc.代表、アートディレクター)

【会場】展示室D 入口前集合

申込不要/参加無料/観覧券またはミュージアムパスポートが必要

●Meet 瑛子!

益田の街にサテライト会場が出現。瑛子がデザインしたポスターや書籍をご覧ください。たくさんのサテライト会場を周遊して、街ごとお楽しみください。

開催場所一覧は下記のQRコードから。

【日時】11月14日(木)~2月24日(月・振休) 時間は店舗営業時間に準じます。

石岡瑛子が
ここにいます



専門人材育成
(舞台照明機器の説明風景)

今回は、いわみ芸術劇場が地域の芸術文化の発展と持続に向けて取り組んでいる様々な育成事業についてご紹介します。

育成事業とは？

いわみ芸術劇場では、地域に暮らす方々が楽しく文化芸術活動に参加し、表現や創造することの面白さを感じる機会づくりを目指し、様々な育成事業を展開しています。

音楽や演劇の体験講座開催から、ステージ公演などの発表機会を提供する「活動・専門人材育成事業」、実演芸術をより身近に感じられる機会としての「鑑賞者育成事業」、新たな愛好者や人材育成を目的とした「次世代人材育成事業」などを通じて、地域文化の活性化と文化活動支援に取り組んでいます。

活動・専門人材育成事業

地域の方々の声を参考に、ワークショップ形式の体験講座や発表機会を通じた多角的な学びの場として開催しているのが「いわみ舞台塾/キッズ塾」。地域での活動人口が減少している演劇分野ですが、初心者でも気軽に参加できるワークショップや体験講座から取り組んでいるのが『演劇工房』です。今年度は参加者による初めての有料でのステージ公演も開催し、演劇の魅

グラントワが 取り組む 多様な育成事業



ネクスト・クワイア
練習風景

力を体感できる育成事業として展開しています。

合唱分野での取り組みは、若年層の合唱文化活性化を目指した『いわみ合唱塾 ネクスト・クワイア』を開催しています。第一線で活躍する合唱指揮者や地元音楽指導者とも連携し、参加者に歌うことの楽しさと交流の機会を提供し活動の担い手や指導者育成に取り組んでいます。

活動者の育成と同時に行っているのが「専門人材育成事業」です。実演家だけでなく、舞台芸術を総合的に学び、関心をもってもらう場として、主に照明や音響など舞台技術に関する講座を展開しています。

地域の活動者掘り起こしと活動機会の充実を目指す活動・専門人材育成事業では、多角的な事業展開を図り、石見地域全体の文化活動活性化に繋がっていきたいと考えています。



中学校吹奏楽部
でのクリニック企画の様子

鑑賞者育成事業

体験の場と併せて実施しているのが、鑑賞の楽しさを身近に感じてもらう取り組みです。ホールでの有料公演だけでなく、親しみやすい無料のロビー公演の開催や、近隣市町と連携した小中高生向けの入場料補助事業などを通じて、舞台芸術鑑賞の魅力を伝える取り組みにも力を入れています。

また、公演鑑賞に向けて知識を深める講座として開催しているのが「グラントワ・アートサロン」。クラシック音楽・落語・ミュージカル・邦楽・狂言・ジャズなどの実演家を招き、ジャンルの魅力や舞台の楽しみ方、知識習得ができる講座形式の鑑賞者育成に取り組んでいます。

次世代人材育成事業

次世代の芸術文化を担う人材育成をめざして取り組んでいるのが、「芸術家派遣事業」です。公共文化施設が少ない地域へのアーティスト派遣や学校向けアウトリーチを行うことで、新たな舞台芸術愛好者の発掘、子どもの想像力やコミュニケーション能力育成を行っています。さらに「子どもの文化活動ネットワーク事業」では、子どもたちの文化芸術活動の機会創出・継続を目的に、プロ演奏者による地元中学校吹奏楽部へのクリニック企画なども実施しています。

LIFE with グラントワ

美しい場所 気を感じて

ほんの数十年前にはほとんどの人にとって縁のないものだったヨガ。今ではとてもポピュラーなものとなりました。グラントワでヨガ教室を始めて11年、58才で資格を修得した事から皆さんの将来の介護予防にフォーカスしてそれぞれのポーズがどこにどう効果的なのかを理解して頂き自身と向き合ってください。もう一つのライ

フワーク生け花。植物が大好きな私にとって四季を通して様々な花木が観賞出来、いつも優しく迎え入れてもらっている気が致します。過去2回、花展では中庭の水面に370本の真竹を使用しインスタレーションを制作させて頂きました。回廊を通る度、陽に輝く水面を目にして懐かしんでおります。

文化、芸術の発信拠点でありそして名建築のこのすばらしいグラントワで過去、現在活動させて頂けますことに感謝です。この美しい場所で少しでも皆様の健康にお役に立てたら幸せに存じます。

[ヨガ教室主宰 大畑淳子]

PICK UP EVENT



須藤静香(ソプラノ) 吉村由望(フルート) 山根ゆい(ピアノ)

グラナリエ関連企画
いつでもどこでも
音楽祭
CHRISTMAS
CONCERT
2024年12月21日(土)
開演 18:30(開場 18:00)
大ホールホワイエ

いわみ芸術劇場では、だれでも気軽に音楽などの芸術を楽しめる場として「いつでもどこでも音楽祭」というミニコンサートを年に数回行っています。12月はグラントワのイルミネーションイベント「グラナリエ」の点灯時間にあわせて、日没後に開催予定。益田出身の3名の音楽家が登場し、ソプラノ・フルート・ピアノでグラントワの冬の夜を彩ります。美しい光と音色を味わいに、ぜひグラントワへお越しください。

[料金] 鑑賞無料(申込不要・全席自由)

劇・場・を・探・る



【ゲネプロ】

ドイツ語の「ゲネラルプローベ」の略語で、バレエ、ミュージカル、演劇などの舞台公演などで公演前に行われる最終稽古のことをいいます。本番公演前の舞台を使った、お客様を入れない本番公演どおりの稽古です。演者のメイクの見え方、衣装の早替え、楽屋との往来、道具類の配置、技術スタッフなど舞台関係者すべてを含めての最終稽古を指す言葉です。

今回は「映写機」です。

グラントワ いわみステージ事業
(晩秋を彩る 和楽器の調べ と 里山マルシェ)

尺八×箏アンサンブル

里山にたまたま音楽会

2024 11.4 (月) 祝

13:30開場 → 14:00開演
【会場】美又共栄同栄ハウス (浜田市金城町)
【入場料】一般 1,000円 高校生以下無料 全席自由・税込

出演者
帯名久仁子(箏・胡弓)
川村泰山(尺八)
岩本雅迪映(箏・三絃・十七絃)

マルシェ同時開催 ※詳細はHPをご覧ください。

数々のミリオンヒット曲を世に送り出してきた ASKAによる全国ツアー！
会場を圧倒する力強い歌声をぜひお楽しみください！

2024.11.23 土祝

いわみ芸術劇場大ホール
開場16:00 / 開演17:00
入場料 [全席指定・税込] ※未就学児入場不可

[一般] S席 12,000円 A席 9,000円
[学生(中学生、高校生)] ※当日学生証提示でキャッシュバック
S席 12,000円(当日 5,000円キャッシュバック)
A席 9,000円(当日 4,000円キャッシュバック)

ASKA

Travel TV presents
ASKA CONCERT TOUR 2024 >> 2025
WHO is ASKA!?

BIG BAND FESTIVAL! SHIMANE!!

島根県内のビッグバンドが 益田に集結!

多彩なジャズサウンドで最高にハッピーな時間をお届けします。グラントワと一緒にスイングしましょう!

日時 2024年 11月24日(日)

会場 いわみ芸術劇場小ホール
開場 12:00 / 開演 13:00

入場料 全席自由・税込 ※未就学児無料
[一般] 前売 1,000円
高校生以下 700円
[当日] 各300円増

チケット 好評発売中

芸術の秋は グラントワで スイング ビッグバンドフェスティバル島根



島根県内で活躍するビッグバンドが益田に集結！
ご家族やご友人と一緒にジャズのリズムに乗って、
心躍るひとときをすごしませんか？

ビッグバンドとは？

おもにジャズを演奏し、管楽器（トランペット、トロンボーン、サクソ）とリズムセクション（ピアノ、ベース、ドラム、ギター）で構成される大編成の楽団を「ビッグバンド」といいます。1920～30年代のアメリカでジャズの一形態として流行し、戦後の日本でも人気を集め、ジャズ喫茶やライブハウスで盛んに

演奏されるようになりました。

その魅力は何といても迫力ある音楽にあります。大人数での一糸乱れぬ演奏、複雑なアレンジやソロパートの即興演奏で、観客も自然と体を動かしたくなるような楽しさを生み出します。また、リズムに乗ったダンスナンバーから美しいバラードまで、幅広いジャンルの楽曲を味わえるのもポイントです。

各バンドの個性的な演奏や、
合同演奏にもご期待♪

そんなビッグバンドの魅力を活かすイベント「ビッグバンドフェスティバル島根」が、11月にいわみ芸術劇場で開催されます。地元益田市を拠点に活動するバンド「Swing Phoenix」とグラントワの共催で行うこの企画では、益田をは

じめ浜田・江津・出雲・雲南・安来・松江から集まった計7団体が登場し、それぞれのバンドの個性あふれる演奏をお届けします。さらに公演中、出演バンドによる合同曲も披露します。各バンドのスタイルや特色がわかったダイナミックな演奏を体感しに、ぜひぜひ足をお運びください！

ビッグバンドフェスティバル島根

2024年11月24日(日) 13:00開演(12:00開場) [会場]グラントワ小ホール
[料金]前売:一般1,000円、高校生以下700円 当日:各300円増
※未就学児入場可 ※未就学児の膝上鑑賞無料。席が必要な場合は有料
※無料託児サービスあり。11月17日(日)までに要申込

Grand Toit's RECOMMENDATION

グラントワのおすすめ



© Yuji Ueno

反田恭平&
ジャパン・ナショナル・
オーケストラの
さらなる深化！
人々を魅了する圧巻の
演奏をぜひグラントワで

2021年第18回ショパン国際ピアノコンクールで日本人では半世紀ぶりの最高位第2位を受賞した反田恭平がグラントワ初登場。自らがプロデュースするジャパン・ナショナル・オーケストラと共に大ホールでコンサートを開催します。

反田恭平は、ピアニスト、指揮者、実業家など、数多くの顔を持ち、今最もチケットが取れないピアニストと言われています。ジャパン・ナショナル・オーケストラと行う本ツアーは2023年にスタートし、各地で旋風を巻き起こし、人々を魅了してきました。

今回は待望のグラントワ公演。一音一音を大切に慈しむ反田恭平の美しいピアノの音色と、ジャパン・ナショナル・オーケストラの伸び伸びと躍動感のある演奏が聞ける貴重な機会です。贅沢な音に包まれるひとときをぜひ会場でご堪能ください。

反田恭平 SORITA KYOHEI

2016年1月サントリーホールにて本格的なデビューアルバムをリリース。チケットが即完売し大きな注目を集めた。2021年第18回ショパン国際ピアノコンクールにて、日本では半世紀ぶりの第2位受賞。現在は活動の拠点をウィーンへ移し、ヨーロッパ、カナダ、オーストラリアなど活動の場を広げている。

みさ美術館に よいて うて



椿貞雄
《冬瓜南瓜図》
1947(昭和22)年

コレクション展
「『触感』のある絵」
11月27日(水)～2025年1月13日(月・祝)
会場:展示室A

コレクション展「『触感』のある絵」について、
担当学芸員の左近充直美さんにきいてみました。

Q1. 印象的なタイトルですね。

そうですね。「触感」といえば手で触った感覚のことをいいますが、美術品を実際に手で触れていただくことは出来ないため、「見ること」つまり視覚で得られる情報から、感覚で捉えることができる「触感」が今回のテーマです。

Q2. おすすめの一点を教えてください。

椿貞雄の《冬瓜南瓜図》(挿図)はまさしく「ほこほこ」「つるつる」したかぼちゃの表面の質感がよく伝わる作品です。作者は大正から昭和にかけて活躍した洋画家です。物言わぬはずの「静物」がどこか「内なるもの」を秘めて主張をもっているような。見れば見るほど写実の奥深さが感じられる一点です。

The 石見美術館 わたしのおすすめ Collection

学芸課長 南目美輝



ラウル・デュフィはフランスの画家。マティスなどの影響を受けフォービスムに傾倒する一方で、ファッションデザイナー、ポール・ポワレと共に装飾の仕事も手がけました。デュフィは、ウィーン工房のテキスタイル部門の活動に刺激を受けたポワレに誘われ、プリント工房開設にかかわります。その後、リヨンの名門絹織物会社ピアンキーニ・フェリエ社のデザイナーとなり、本格的にテキスタイルデザインに取り組みました。デフォルメ

ラウル・デュフィ
ピアンキーニ・フェリエ社の
ためのテキスタイル
《パステル色の花》(部分)
制作年不詳

された花や人、動物などを軽妙なタッチと、鮮やかな色で表現したテキスタイルを次々と発表。大胆でありながら洗練されたデザインのテキスタイルは、ポワレをはじめとする同時代のデザイナーにインスピレーションを与えました。

アマチュア ミュージック フェスティバル in MASUDA 2025

2006年より毎年開催している、地元ミュージシャンによるライブイベント。アツいパフォーマンスをお楽しみに!

2025 2.9 (Sun)

いわみ芸術劇場小ホール

開演時間、入場料等の詳しい内容は、
決まり次第HPなどでお知らせいたします。

反田恭平& ジャパン・ナショナル・オーケストラ コンサートツアー2025

ピアニストとしてだけでなく指揮者としても、
さらなる旋風を巻き起し続ける反田恭平と
Japan National Orchestraがグラントワ初登場!

2025. 2. 23 Sun

いわみ芸術劇場大ホール

※開演時間、入場料等の詳しい内容は、決まり次第HPなどでお知らせいたします。

石見美術館コレクション展

展示室 A

コレクション展 「触感」のある絵
11月27日(水)～2025年1月13日(月・祝)
※「美術館にきてみよう」参照

コレクション展 雪月花
2025年1月15日(水)～3月3日(月)

今尾景年《雪月天狗図》(部分)
制作年不詳

展示室 B

たなこころ
コレクション展 掌の芸術 根付
12月4日(水)～2025年2月3日(月)

コレクション展
写真でみる時代の美意識
2025年2月5日(水)～3月24日(月)

ファッションの動向は政治や経済などの社会状況が変化するのに対応し、大きく揺れ動きます。本展ではファッション写真や雑誌を通し、変遷する時代の美意識を見つめます。

マーティン・ラング
「ル・パリス」
1933年6月号 1933年

展示室 C

コレクション展 ラウル・デュフィ
12月7日(土)～2025年2月3日(月)
※「The Collection わたしのおすすめ」参照

コレクション展 宇宙/地表
2025年2月5日(水)～3月24日(月)

松江泰治 (JP-32) 2018年

ミニ観に
レビュー
・ジャズ、ユダの歌声が素晴らしいです。初めてみましたが、人の心の移り変わりの残酷さ…十字架を一人で運ぶジャズ、最後は苦しくて…素晴らしい作品でした。(松江市・40代/劇団四季「ジャズ・クライスト＝スーパースター」)
・安彦展のために初めて島根に来ましたが、とても満足しています。機会があればまた来たいです。映画のイベントもとても楽しめました。(東京都・50代/企画展「描く人、安彦良和」)
・ホールのすばらしさにびっくり。大西さんのデビューアルバム「WOW」以来ほとんど購入していますが、変幻自在なそのパワーに、もう圧倒されました。スゴイです。(岩国市・70代/大西順子カルテット)

Grand Toit & / リレーでコラム 14

畑山経弘 (グラントワ副センター長)

毎号、職員がコラムで繋ぐ「リレーでコラム」。第14回は、今年4月にグラントワ副センター長に就任した畑山経弘さんです。

4月からグラントワに勤務させていただき、建築家内藤廣氏のこだわりと思いが随所に込められた、建築としてのグラントワの魅力に今更ながら気づいた私です。

屋根や壁に石州瓦をふんだんに使った赤茶色のインパクトのある外観。毎日通勤していると天気や時間帯でその色が変わることもわかります。中庭の水盤もその日の空の色、吹く風や雨の水滴により様々な表情を見せてくれます。

回廊のカリンの床は屋外の樹々の鮮やかな緑を写し、ロビーの天井はアーチ状で高く、教会のような荘厳さを感じさせます。

そして圧巻なのは、幾何学的な面の組み合わせで、力強く存在感のある大ホールのコンクリート打ち放ちの壁。ホール内からもホワイエ側からも見ることができます。

ホワイエの奥、窓際の陽の

光が差し込む空間もとてもいい雰囲気でお気に入りの場所です。

もはや芸術作品とも言える建築としてのグラントワは、企画展や劇場公演がなくても、いつでも見ていただけます。しかも無料です!

ホワイエは利用予約がない時には自由にご覧いただけます。大ホール内は年に何回か「無料開放デー」を設けて見学いただいています。ホームページでご確認ください。

特別な時だけでなく、日常の中で気軽に利用いただける「非日常空間」グラントワ。皆さまのご来館、心よりお待ちしております。



大ホールホワイエ

今回は野村章代さん(アテンダントチーフ)の予定です。

報告します!

演劇つくろう!
グラントワ演劇工房
成果発表公演



当日の様子

2021年にスタートし、島根で長年にわたって演劇活動をしている講師、坂井陽介さんのもと、様々な演劇ワークショップを開催してきたグラントワ演劇工房。今回はその集大成として「音楽劇 いっぽんの木〜石見編〜」という作品を創り、初めての小ホール有料公演に挑みました。

公募で集まった9名の参加者は、年齢も経験も様々でしたが、約2週間の稽古期間、セリフや歌を覚え、立ち位置を確認し、お客様により良い公演を見ていただくために一生懸命頑張りました。公演当日は、緊張やプレッシャーに打ち勝ち、堂々とした演技を披露。お客様の感動の涙と参加者の達成感あふれる表情が印象的な公演となりました。

参加者の感想

素晴らしいかった。胸がいっぱいになり、感動しました。歌声も素敵で、皆さんそれぞれが輝いていました。(益田市・50代)

ミュージア vol.23
〈音楽劇〉とともども
ゆきまゆトリオの大冒険



当日の様子

美術館と劇場の複合施設であるグラントワの特徴を生かした美術と舞台芸術の融合企画「ミュージア」の第23弾を開催しました。

絵本作家・堀内誠一の『ぐるんぱのようちえん』やパリ滞在中の堀内がデンマークの民話から紙芝居にした『うみからきたおとこのこ』を、構成・出演山口とも(廃品打楽器奏者)、出演 中山ゆき子(ヴァイオリン)、中村真弓(ピアノ)、西藤将人(朗読)で立ち上げました。堀内誠一の世界観をベースに出演者のアイデアを盛り込み、オリジナルで濃密な時間になりました。子どもたちは保護者の膝の上に座るなどくつろいだ雰囲気でお話や音楽に聞き入っていました。

参加者の感想

身近にあるものを使ってこんなに楽しめるんだと思いました。(川本町・小学生)

絵本の世界に引き込まれました。とても楽しいコンサートでした。(松江市・60代)

大人もすごく楽しんで気持ちもハッピーになれました。また参加したいと思いました。(益田市・60代)

グラントワ通への道

Q. グラナリエのツリーの高さは何メートルですか?

A. グラントワの冬を彩るクリスマスイルミネーション「グラナリエ」。中庭広場の水盤に飾られるツリーの高さは約4メートルあります。毎年グラントワスタッフが手作りで設置しています。水盤に反射してキラキラ輝く光と流れる水の音に包まれた空間はとても幻想的です。



編集後記

■グラントワの冬の風物詩クリスマスイルミネーション「グラナリエ」。実は真夏から準備を進めています。さあ今年はどうなツリーにしようかな? [T.V]

■最近、友人と絵葉書のやりとりをしています。ミュージアムショップには、グラントワでしか買えない絵葉書も。皆さんも是非いかがですか。[O.H]

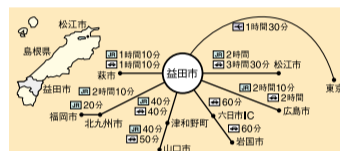
■月日が経つのは早いですね。今年も健康に仕事や趣味も充実した日々を過ごすことができました。来年も充実した一年となりますように。[S.N]

■最近、短編ホラーをよく見えています。海外の若手作家のYouTubeや、テレ東のフェイクドキュメンタリーなど。手軽で、不気味で、おもしろい。[K.N]

INFORMATION

■開館(利用)時間
※グラントワは8:45から開館
石見美術館 9:30~18:00
(展示室への入場は開館30分前まで)
いわみ芸術劇場 9:00~22:00

■休館日(祝日の場合開館、翌平日休館)
※催しに合わせて休館日を変更する場合あり。
石見美術館 毎週火曜日、年末年始
いわみ芸術劇場 第2・第4火曜日、年末年始
※年末年始:12/28~1/3



交通案内
◎石見交通バス「グラントワ前」下車徒歩1分
◎JR益田駅から徒歩15分
◎秋・石見空港からJR益田駅まで連絡バス約15分
◎浜田自動車道浜田ICから自動車約50分
◎JR新山形駅から益田駅まで特急約90分

グラントワ Grand Toit
島根県芸術文化センター「グラントワ」
〒698-0022 益田市有明町5-15
TEL: 0856-31-1860(代表)
FAX: 0856-31-1884(代表)
e-mail: grandtoit@cul-shimane.jp
www.grandtoit.jp



読者
プレゼント

石見美術館 企画展
「石岡瑛子 | デザイン」
招待券をペア10組様に
プレゼント!



毎号抽選でチケットやオリジナルグッズなどをプレゼントします。ぜひご応募ください!

■申込方法 ご希望の方は、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、本号の「Grand Toit News」の感想をご記入の上、11月30日(土)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailのいずれかでご応募ください。【あて先】〒698-0022 益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」『Grand Toit News vol.80 読者プレゼント』係・FAX: 0856-31-1884・e-mail: g-present@cul-shimane.jp ※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

Christmas Party is a Bonito Ombu...
Christmas Party オードブル
ご予約承ります
予約受付中
■受け渡し期間
2024年12月20日(金)・25日(水)
各日PM3:00からのお渡し
料金(2人用)
7,000円(税込)
ポニイ特製
おせち
シェフ自慢のおせち料理を
ご家庭でお楽しみください。
予約受付中
■受け渡し日
2024年12月31日(火) PM3:00
からお渡し
料金(4~5人用)
20,000円(税込)
おせちオードブル
20,000円(税込)
おせち三段重
35,000円(税込)
※いずれの商品も、完全予約制です。※いずれも会員割引対象外
Restaurant
Pony
■営業時間 ※イベントにより変更あり夜は予約のみ
11:30~16:30(14:00~カフェタイム)
■店休日/毎週火曜日、年末年始
■TEL/0856-31-1873
www.restaurant-pony.com/

内藤廣 &
昨年、企画展が大好評となったグラントワの設計者である
内藤廣さんや、グラントワの建築関連のグッズを再入荷しました。
グラントワ建築グッズ
販売中!
再入荷 トートバッグ 再入荷 ポストカード
2,300円(税込) 165円(税込)
石岡瑛子
Eiko Ishioka
デザイン
design
期間限定販売
2024年12月14日(土) -
2025年2月24日(月・振替)
企画展「石岡瑛子 | デザイン」にちな
んだ関連グッズを期間限定で販売
いたします。展覧会とあわせてお楽
しみください。
MUSEUM SHOP
con amore
www.grandtoit.jp/shop/
■営業時間 / 9:30~17:00
■店休日 / 毎週火曜日、年末年始
■TEL / 0856-31-1874

Follow Us!
最新の情報をいち早くお知らせ
「グラントワ」公式 Facebook @grandtoit.jp
「石見美術館」公式 Instagram @iwamiartmuseum
「グラントワ」公式 X @grand_toit
「グラントワ」公式 YouTube @grandtoit
「石見美術館」で開催されるバラエティ豊かな展覧会
や関連プログラム、「いわみ芸術劇場」で開催される
コンサート、演劇、イベント情報をはじめ、「グラントワ」
に関する様々な最新情報を随時更新中。

東京(羽田) 萩・石見 90分
鳥根県益田市にある
萩・石見空港を使って
お出かけしよう!
フライト情報、交通アクセス、
運賃助成制度など、詳しくは
「萩・石見空港」HPをご覧ください。
萩・石見空港オリジナル
キャラクター「トビーくん」
登録はこちら
萩・石見空港
メールマガジン 配信中
メルマガ登録者限定のお得な運賃助成のほか、
萩・石見空港に関するお得情報をお届けします。
TRIP WEB MAGAZINE
萩・石見
萩・石見空港エリアの美しい風景やインタビュー記事が盛りだくさん!
お問合せ 萩・石見空港
利用拡大促進協議会
TEL 0856-23-0990
萩・石見空港